

月刊

みんなのボランティア情報誌

ボラナビ

9月号 No.49
2002年8月25日発行

ご自由にお持ちください



〈今月の表紙イラスト〉
札幌市厚別区にお住まいの
澤田知子さん

特集 祝・5年目突入!!

ボランティア体験記●植樹ボランティア

ボラナビの集い●ひろたまゆみさんの「参加型ミーティング」

祝●「ボラナビ」5年目突入!!

1998年8月25日に創刊した「月刊ボラナビ」。おかげさまでこの号で5年目に突入することとなりました。これまでの歩みを、ごくごく簡単ですが、ふりかえってみたいと思います。まずは代表の森田からごあいさつ。

「月刊ボラナビ」は、ボランティアをする人、ボランティアをして欲しい人、一緒に活動する仲間を求めている団体を結ぶことを目的にスタートしました。今年で5年目を迎えることができたのも、ボラナビに関わり、支えてくださった、数え切れないくらいたくさんの皆様のおかげです。本当に、ありがとうございます。

創刊時に比べると、NPOやボランティア団体の活動は、どんどん活発になってきており、NPOに関心のある学生、会社員、主婦などさまざまな人が関わりやすくなっています。ボラナビ倶楽部内でもスタッフの数が増えてきていて、嬉しいかぎりです。新しい出会いや発見があり、スタッフ一同、日々ワクワクしながら活動しています。

でも、残念ながらまだ、NPOやボランティア団体が活動する環境が十分に整っているとは言えません。多くの団体が、情報入手や情報交換、PRの方法、そしてそのすべてを充足させるための資金に困っています。ボラナビ倶楽部の経営基盤も、決してよくありません。さまざまなNPOやボランティア団体が、より活発に活動できるよう、これからも地域のみなさんと一緒に、がんばってきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ボラナビ倶楽部代表 森田麻美子

創刊から協賛してくださっている方々

ほくでんぼるねっと様 土屋ホーム様 中道リース様
(北海道電力内ボランティアサークル)

「これからボランティアに関する無料情報誌を作りたいので、協賛していただけませんか?」という突然の、得体の知れない(?)お願いに応じていただいたときから、継続してご協賛くださっている企業です。どうもありがとうございます。

ボラナビ倶楽部5年間のあゆみ

- 1998年3月●「特定非営利活動促進法(NPO法)」成立・公布。1995年1月の阪神・淡路大震災がきっかけとなった。
- 1998年5月31日●ボラナビ倶楽部設立。社会人2人、学生8人で第1回ミーティング開催。創刊準備に追われ、徹夜をする日もありました。
- 8月25日①「月刊ボラナビ」創刊! 誌面の「はじめまして、ボラナビです!」という言葉がなつかしい。1万5千部があつという間になくなり、2号目から1万部増刷することに。
- 1998年12月●「特定非営利活動促進法(NPO法)施行。
- 1999年2月●NPO法人認証第1号が、北海道内から誕生!
- 3月22日●かでの2.7にて第1回ボラナビの集い。40人以上が参加して大盛況。高齢者にお弁当を宅配しているボランティアグループ「ニュートリ・ケア」さんからのお菓子の提供もこの時から。
- 3月●31日までに全国で41団体のNPO法人が認証される。
- 5月号●名古屋で30年以上障害者施設を訪ねているグループを電話で取材して掲載。これをキッカケにボラナビを知った名古屋の若者たちが、'00年4月に「ボラみみ」創刊。仲間ができてボラナビスタッフ大喜び。
- 6月11日~18日②札幌でボランティアをしている人たちと一緒に、札幌の姉妹都市であるアメリカのポートランド市へ視察。地域の人の無理のないボラ活動にふれる。勉強になりました。
- 11月号③大通公園で50人に「ボランティアに関する突撃インタビュー」決行! うち9人がボラ体験ありという結果。ボラナビのPRもできたけど、突然インタビューされた人に驚かれた(笑)。
- 同じく11月号●普通小学校に入学した車いすの男の子へのボランティア募集記事を以前掲載したところ、「あの子はどうなったの?」と反響が多かったので、報告記事を掲載。10人のボランティアさんに支えられて元気に学校に通い、友達と遊ぶ様子に、さらに大きな反響が。
- 2000年3月●有珠山が23年ぶりに噴火。
- 2000年4月号●市内の某ホテルにて、不要になった90台のテレビをボラナビが仲介して、ボランティア団体に分配したことを報告。夫の暴力から逃げた女性や子どもをかくまう活動をするグループには10台渡しました。
- 5月号●雨竜町のNPOが農業の繁忙期に手伝ってくれるボランティアを募集。その記事を掲載したところ大反響。5人がボラ体験し、ボラナビへのお礼記事が雨竜町広報誌に掲載された。ボラナビでも9月号に報告記事を掲載。
- 9月8日~14日④本州のNPO団体と一緒に、NPO活動が盛んなアメリカのサンフランシスコ市へ視察に行き、20近くのNPOを見た(報告記事を11月号から5号にわたって掲載)。その時出会ったNPOがヒントとなり、帰国後、インターネットで募金を集める「ねっとほ金」を北海道でも始めようと準備スタート。
- 12月●NPO法人認証件数が全国で3,000件を突破/政府税調会においてNPO税制創設と明示。
- 2001年5月●NPO法人認証件数が4,000件を突破。
- 5月●ボラナビがNPO法人に。任意団体最終日の会計に280万円借金があることで、読者を驚かせてしまった。
- 8月●文部科学省委託事業「ボランティア活動よくばり体験」事業実施について掲載。市民のボランティア参加の機会提供が目的で、約100人がボラ体験。「貴重な体験だった」と大きな反響があった。
- 9月⑤「より多くの人にNPOやボランティア団体を知ってほしい!」と「ねっとほ金」スタート。それにともないホームページもリニューアル! 北海道内を中心に100団体が登録。すぐにアメリカで同時多発テロ発生。ねっとほ金で被害者支援の義援金を集めた(北海道新聞9月20日の社説に掲載)。
- 9月●アメリカで同時多発テロ発生。
- 10月●NPO法人認証件数が5,000件を突破/NPO支援税制施行。
- 10月●この頃から常駐スタッフが増えはじめる。
- 2002年2月●NPO法人認証件数が6,000件を突破。
- 3月14日●約4年お世話になった北11条の事務所から現在のビルへ、ボラナビ事務所が引越し! 気持ちも新たに再スタート!
- 4月号⑥月刊ボラナビがB5版からA4版にリニューアル。読者のみなさんからご好評をいただく。内容もより充実を目指して努力中。



ボランティア体験記

第6回 植林ボランティア

メロンと恐竜の化石で有名な胆振管内穂別町の山林で、植林をするイベントが行われました。このイベントにボランティアとして参加した松本幸子さん(21歳)の体験記です。

参加するとは言ってないゾ

私がこのボランティアに参加したきっかけは、母でした。その日私が茶の間に行くと、母が目を輝かせながら新聞を読んでいた。「私の故郷で植林ボランティア募集だっ！」

母は、“恐竜の町”穂別町の出身で、時間があれば山菜採りに行く大の山好き。「自分が男だったら大工さんになりたかったわ」というくらい活発で元気な人で、私が気が付いた時にはもう、2人分の申し込みをしていたのです。

いざ、穂別町へ出陣!

さて、その植林ボランティアの舞台は、穂別町主催の、開町90年・町制施行40周年記念で開かれることとなった「マザーフォレスト・町民植樹祭」と、世界規模で植林活動をしている財団法人オイスカによる「第6回北海道山・林・SUN体験(春季行事)」の合同イベント。開催日の5月25日、札幌の某所にある集合場所に集まると、バス3台と個人の車数台が待っていて、私はバスに乗り込み、穂別町へ向かいました。



下の列、右から2番目が映画監督の催さんです

主催者側の話によると、参加者は札幌市民が140名、穂別町民が40人程度。「親子連れか中高年層が多いのかな」と予想していたのですが、学生の姿も多く見られました。

ゲストには映画監督、大学助教授、日本人だけでなく外国の人もいて、植林は、職種も国も関係なく、誰もが関心を持っていることなのだと思います。バスの中では「昼食を忘れてきたー」「昨日夜遅くて…」などという会話が交わされ、とても賑やかな雰囲気なものでした。高速道路で2時間あまり。辺りは緑色が濃くなってきました。目的地、穂別町稲里町有林は、山道をぐねぐね登った、見晴らしの良いところにありました。荷物を背負い、さらに斜面の上を登ります。



植林について説明する町職員の方々

午前の部では、穂別町町長や財団法人オイスカ北海道支部副会長の挨拶がありました。森林管理局の方は、自然との共生について話してくれました。世界4大文明は自然の恵みと共に栄え、そして、自然と共に滅びたのだという話も印象に残りました。

本当の記念樹に…

いよいよ、待ちに待った植林の時間。穂別町役場の“その道のプロ”と呼ばれる方々が、クワを片手に実演をしてくれました。苗木の種類は、花の咲く木(ナナカマド・コブシ・サクラ)や、ミズナラ・カエデ・マツなど計10種類。各自気に入った苗木を持って、苗木の巻かれているテープの色と、地面に



意外と難しい植林

刺されている杭の色とを照らし合わせながら、植えていきます。

苗木は、そのほとんどが山の上から下までの縦列で種類分けをされているのですが、所々(本当に忘れていたような時に!)違う種類を植えなければならない場所があり、あ

って正しい場所を探す事もしばしば。場所が見当たらない時は、近くにいる人に声をかけると、快く教えてくれました。クワを使って杭のあたりに穴を掘るのですが、初めての私にはなかなか骨の折れる作業。地面って平らだと思ってい

ませんか? しかしここは山の中。平らに見えていても微妙に傾斜があるのです(もちろん目に見えて傾斜のある場所が多いのですが)。微妙な傾斜に微妙に力を入れて、踏ん張りながらクワを下ろす。自然に汗が出てきました。見かねた母が、「私がやるわ」と言うなり、水を得た魚のようにクワを振り下ろしはじめました。母は勢いあまって境界線を印す杭にも苗木を植えてしまいました。役場の方のご好意で、それは「記念樹」ということになりました。

花が咲く種類の苗木は、鹿が新芽を狙っているので、網をかけなくてはなりません。苗木の近くに3箇所添え木をし、それに網を通します。網は、鹿が角で持ち上げてしまう事を

考えて、地面すれすれまで下ろして、端をビニール紐で弛まないように結びます。まず、添え木を地面に差し込むのが大変でした。斜面なのでうまく力が入りません。軽く差し込んだら、全体重を棒高飛びの選手のように力を込めて、しっかりと差し込みます。網は気を抜くとずり上がってしまうので、

力を込めて、下へ引っ張らなければなりません。私のあまりの不器用さは、役場の方々にも笑われてしまいました。

いつか立派な森林に

植樹の後には森林教室が開かれました。日本の森林と近隣諸国の森林についてお話を聞いたのですが、近隣諸国ではひと昔前の日本のように、森林は木材として伐採されているそうです。富のためだけに伐採していると、いずれ自然のバランスが崩れ、取り返しがつかなくなるというのに…。伐採することよりも、伐採しなければ生活が成り立たないことがもどかしい、と思いました。



森とのふれあいコンサートの様子

昼食時には、札幌大学吹奏楽部による“森とのふれあいコンサート”が開かれました。疲れがとれるような曲や、懐かしさにあふれる童謡など、聴いている人々の顔を見ていると、和やかな空気が流れている…そんな気持ちになりました。

帰りのバスの中は、行きと違って、話し声ではなく、寝息が聞こえてきました。数年後には、私が植えた苗はどのくらい育っているのでしょうか。母の植えた記念樹もどのくらいになっているのでしょうか。これから毎年、5月25日という日が楽しみになりそうです!

(松本 幸子)



引越し・旅行・車検は、まず札幌にお電話ください!

- 引越し…見積もり無料。
- 旅行…JTB、北海道ツアーシステムなどの大手国内外旅行も、同金額、同サービスで取り扱っています。
- 車検と保険も取り扱っています。

札幌通運では、引越し・旅行・車検のサービスをしています。ご利用の際、「ボラナビに還元して」とおっしゃっていただければ、売上の一部をボラナビ倶楽部に還元します。お客様のお支払いが、その分、高くなるということは決してありません。広告費を抑えています。一般のお客様と同様のサービスをご利用ください。

お問い合わせ・お申し込みは (担当:佐藤)
 札幌“はこび愛ネット”推進事務局
 札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル2階

(011)251-4120

FAX (011)251-3315
 URL <http://www.sattsu.co.jp>

ひろたまゆみさんの参加型ミーティング



各テーマごとにグループ分けをしているひろたまゆみさん



話し手の言葉に耳を傾ける参加者たち

7月の集いは、いつもと違い、椅子を丸く並べて行いました。「参加型ミーティング」とは、話す側と聞く側が対等な立場に立つところからスタート。交わされる意見に関しては、「これが正解」ということはなく、「答えを知っているのは本人」と説明がありました。話の内容は「ここだけ」にする、他に口外しない、というルールも決められました。

まずは2人組になり、1人が4つのテーマ(①呼んで欲しい名前 ②今日の会に期待すること ③今までで1番よくやってきたと思うこと ④今の気持ち)にそって2分間話をします。もう1人はそれを「うっとりほれほれ」と聞きます。話していて長いなと思った人は、普段人に話を聞いてもらっていない、逆に聞いていて長いなと思った人は、普段人の話をじっくり聞いていないかもしれないと説明がありました。

母親、学生、社会人など、さまざまな立場や年代の人の経験や考え方に、聞く側は興味シンシン。よくやってきたことに「仕事」をあげる男性が多く、ひろたさんは「敬意を表しますが、反面悲しいね」とコメントしていました。続いて4人程のグループで話し合い、最後は「明日から1つやってみたいと思うこと。誰に助けてもらうか」をひとりずつ発表しました。

ミーティング終了後、参加者からは「聞き上手になりたい」という意見が多く出ました。時間をとるように心がけて、相手の気持ちをよく聞くことにより、良い人間関係ができていくのだなと思いました。

参加者からひとこと

- 新しい出会いがあって良かった。(無職・男性)
- 大変有意義でした。自分の目的にかなったものだった。(専門職・男性)
- いつもの「集い」とかなり違って、みんなで参加するという感じだった。スピーカーの話聞くだけでなく、全員参加できるところがマル。(専門職・女性)
- 普段の集まりでは言えないようなことを言える雰囲気があり、それが、参加型ミーティングの意味だったんですね。(団体職員・男性)

9月のボラナビの集い

好評につき第2弾!

NPO・ボランティア団体の「お悩み」座談会

北海道新聞社のご協力で開催し、当日はNPO担当記者が取材に訪れます。みなさんの団体の「お悩み」を共に語り合いませんか? 参加希望の団体は、FAXかEメールでお申し込み下さい。先着6団体までとさせていただきます。(見学可能)

日時◎ **9/19(木) 18:30~20:30**

場所◎札幌ビル5階 A会議室(中央区北5条西6丁目2)

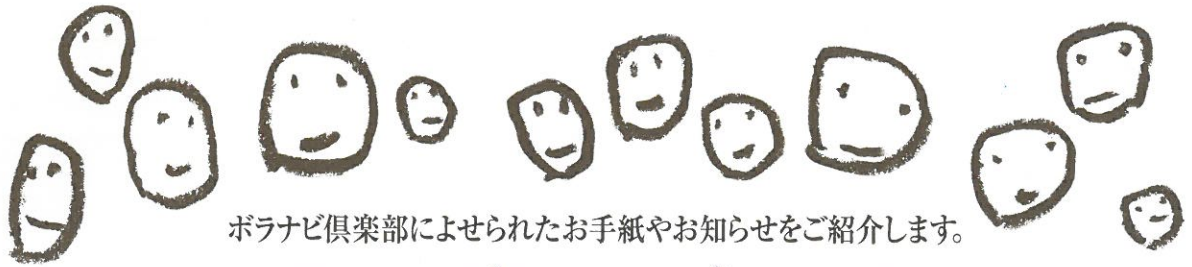
会費◎無料

ボラナビの集い 10月以降の予定

10月

●日時/10月22日(火) 18:30~20:30

●場所/札幌ビル5階 A会議室(中央区北5条西6丁目2)



ボラナビ倶楽部によせられたお手紙やお知らせをご紹介します。

みんなの広場

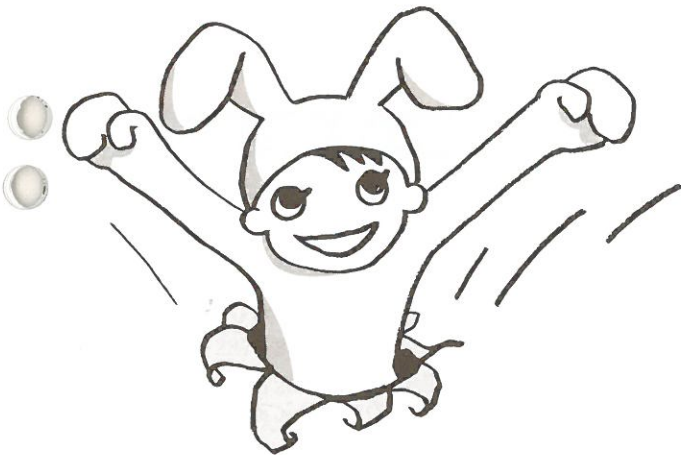
これからもボラナビ読みますね

石井千春さん(札幌市南区)

はじめまして。私がボラナビに出会ったのは、スーパーで
何げなく手を取ってからです。内容に興味を持ち、私にも何
かできる事はないかと思って、まずはあいさつがてらお便り
を出そうと思いました。募金などをした事はあるけれど、その後
はどうなるのだろうと考えてしまい、結局ほかには何もできず
にいました。ボラナビは、そんな不安を少し変えてくれたよう
な気がします。これからもボラナビ読みますね。

ボラナビ倶楽部から

7月号のかわいい表紙イラストを描いてくれた方です。また、イラ
スト描いてくださいね。お待ちしております。



よろしくおねがいします

澤田知子さん(札幌市厚別区)

私の子どもには障がいがあるので、ボランティアはされる側で
す。ボラナビの情報で、子どもが参加できるコンサートイベントを
知ることができ、助かっています。これからもよろしくお願ひします。

ボラナビ倶楽部から

おハガキでいただきました。裏にはとっても素敵なイラストが描か
れていたで、9月号のボラナビ表紙イラストにさせていただきました。

路上生活(ホームレス)支援活動

北海道の労働と福祉を考える会事務局長 諏訪絢子さん(札幌市北区)

様々な事情によって路上生活をするに至った方々を対象
に、支援活動を行っています。活動内容としては、1ヶ月半に
1回のペースで行う、生活・健康相談会をメインに、声かけ(夜
回り)や実態調査などを適宜実施し、ホームレス問題に対し
て真剣に考えています。興味を持たれた方はぜひ1度参加
してみてください。大歓迎です。

- 場所/北海道大学教育学部内
- 交通機関/地下鉄南北線「北12条駅」下車徒歩10分
- お問合せ/携帯電話:090-7515-8393(担当:諏訪)
URL:<http://members.tripod.co.jp/roufuku/>

ボラナビ倶楽部から

7月号「みんなの広場」で「ホームレスのために」を掲載してから、
ホームレス支援に関する問合せが寄せられるようになりました。

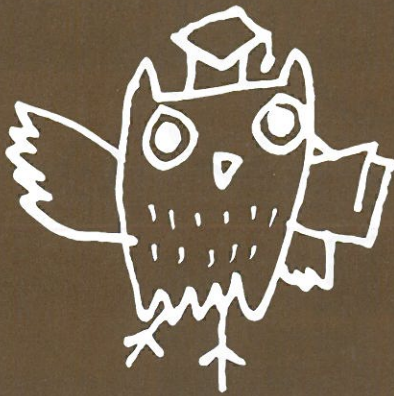
近況報告しますね

三上晶代さん(士別市)

車いすダンスをしている士別市の三上晶代です。この度は、
月刊ボラナビ8月号に「車いすダンス男性パートナー募集」の
記事を掲載していただき、本当にありがとうございました。車い
すダンスの見学は自由ですので、機会がありましたら是非い
らして下さい。私は、月1度のペースで行っていますので、メー
ルを頂ければ日程をご報告したいと思っております。その後の、
近況報告もさせて頂きたいと思っております。今後ともボラナ
ビ倶楽部のみなさまにはお世話になることと思いますが、どう
ぞよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

ボラナビ倶楽部から

8月号で掲載された三上さんからです。早く、ダンスパートナーが
見つかるといいですね。近況報告お待ちしております。他にも掲載
者から感謝のお声を多数いただきました。ありがとうございます。



新聞遅読み

新聞には、NPO、地域、福祉などに関する興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めています。このコーナーに掲載できるような記事がありましたら、新聞社名と掲載日がわかるようにしてボラナビ倶楽部にFAXしていただけると嬉しいです。

男女6人一つ屋根の下

築150年の民家で、26歳から63歳までの単身男女6人が共に暮らす試みが東京・世田谷で始まった。高齢化や女性の社会進出で、血縁に頼らない共同生活を求める人々が都市に生まれている。「生活の一部の共同化」を試みるNPOコレクティブハウジング社が初の事業として借りている。現在、女性5人、男性1人で暮らしているが、年齢も職業もばらばら。昔から知り合いだったわけでもない。だが、おかずを分け合い、酒を飲みながら言葉を交わす暮らしを楽しむ。6人は6～10畳の部屋を個人で利用し、台所、風呂等は共用している。個人の領域は侵さないという暗黙のルールと、多人数が暮らす楽しさが両立している、と6人は口をそろえる。また、近くに誰かいると安心。同世代とは違う、広がりのある関係が魅力という。気になる家賃は1人4万円。(朝日新聞 2002年5月5日)

傾聴ボランティア広がれ

病院や福祉施設で、患者やお年寄りや障害を持つ人の苦しみに耳を傾ける「傾聴ボランティア」が、全国で広がっている。傾聴ボランティアは30分から40分程度、患者やお年寄りの思いに耳を傾ける。患者らは話すことで、気持ちが落ち着き、考えを整理し、自分の現状を受け入れ、生きる力がわいてくるのだという。

傾聴ボランティアを提唱する東海大学健康科学部社会福祉学科(神奈川県)の教授は「傾聴ボランティアは訓練さえすれば誰でもなれるんです」と話す。「患者らの言葉を反復し、相手が答えを見いだすまで待つ」といった聴く姿勢などを六日間の養成講座で学ぶ。実践し、認定された傾聴ボランティアは、現在約200人、9割が女性だ。死が迫る終末期の患者は、生きることの意味を真剣に考え、問いかける。傾聴ボランティアはこうした「魂の声」を受け止める。(北海道新聞 2002年3月22日)

大学生を小中学校にボランティア派遣

大学生を小中学校に派遣する試みが、各地で広がっている。学生が教師の補助役として、音楽の授業でリコーダーを教えたり、プールの授業で水泳を教えたりしている。子どもたちは帰宅するなり「おねえさん先生が来たよ」と親に報告するなど、先生よりも身近な存在のようだ。

参加した学生の中には、学級崩壊に遭い、やめようかなと落ち込んだこともあったが、急用で休んだ翌日も子どもが寄ってきてくれたことを通じて、もう接し方に戸惑うことはなくなったという。「これまで気に留めなかった町中の子どもの姿に、目が向くようになった」と話す。ある校長は「子どもは子ども、お年寄りはお年寄りで集まり、地域の子育て力が落ちてきた。子どもが困っていても声をかける人がいない」と危機感を話す。このボランティアを通じて、昨今不足しているコミュニケーション不足や子育て前の教育につながるのではないかと関係者は考えている。

(朝日新聞 2002年5月17日)

利益追求も社会のため

複数のNPOで経営管理を担当しているベス・アンダーソン(デューク大大学院シニア客員研究員)さんが、東京アメリカンセンターで社会起業家について講演した。「社会起業とは、社会的課題をだれもやっていない手法で解決すること。19世紀に最初の看護専門学校をつくったナイチンゲール、バングラディッシュの無職女性に小口融資をはじめたムハンマド・ユヌス氏らも社会起業家」「NPOも製造業から飲食店経営まで様々な事業に進出しており、収入としてだけでなく、新たな雇用の場を提供している。そして、営利企業とNPOが協力するケースも増えていて、NPOはチームワークを、企業は経営のノウハウを教えあっている」ことなどを事例にあげ、「起業家やベンチャー投資家たちも社会に還元される投資に関心を寄せており、このような流れが営利・非営利というセクター間の壁を崩す」という話をした。

(朝日新聞 2002年4月6日)



ボランティア情報

※ボラナビ事務局では、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細等はそれぞれの団体にお問合せ下さい。

軽作業を一緒にしてくれるボランティア募集

知的障害者の自立・就労を目指す作業所「ぱお」では、作業所会員(利用者)の増員と活動領域の拡大に伴い、ボランティアを募集しています。作業所内での軽作業(エコクラフト、料理、お菓子作り、パソコン作業、チラシ配布など)を一緒にしたり、就労・実習先等への同行などをさせていただける方をお待ちしています。経験は問いません。平日9:00~17:00の間で都合のよい日・時間帯でかまいませんが、なるべく長時間でできる方、大歓迎いたします。また、併設している「寺子屋」のボランティアも募集しています。

- 日時/月~金曜日 9:00~17:00の間で都合のよい日時
(寺子屋は土曜日、同じ時間帯)
- 場所/札幌市清田区北野5条3丁目4-14 北章一岡ビル1F
- 交通機関/地下鉄東豊線「月寒中央駅」から中央バス(月62)、地下鉄東西線「南郷18丁目駅」から中央バス(南62・77・85・86)「北野5条2丁目」下車徒歩1分
- お問合せ/地域生活きたのセンター「ぱお」〈担当:荒野〉
TEL・FAX:011-889-6560 Eメール:pao-pao@sea.plala.or.jp
※その他、交通費補助あります。

高校生のボランティアの集い「By myself 2003」スタッフ募集

「By myself」とは、ボランティアに関心のある高校生を対象に、ともにボランティアについて考えながらさまざまな体験をする場です。毎年2月に2泊3日の日程でイベントを行っており、今回で6回目となります。現在は学生を中心として15名程度で活動していますが、まだまだスタッフが足りない状況です。ボランティアに興味や関心のある方、説明を聞いてみたい方、18歳以上(大学生、短大生、専門学校生)であれば性別、経験は問いません。ぜひご連絡ください。スタッフ募集にあたり、説明会を行いたいと思います。説明会に参加できない方も、説明会に応じますのでご相談ください。

- 日時/9月17日(火) 18:00~
- 場所/かでの2・7 札幌市中央区北2条西7丁目
- 交通機関/地下鉄・JR「札幌駅」から徒歩10分
- お問合せ/By myself実行委員会〈担当:玉置〉
携帯電話:090-2871-3622
Eメール:by_myself20xx@hotmail.com
※毎週水曜日に北星学園大学でミーティングを行っています。(18:00~21:00)

子どものチャリティーイベントスタッフ募集

「チャイルドネット(仮称)」事務局では、アジアのストリートチルドレン(路上で生活する子どもたち)を支援する音楽のチャリティーイベントの開催を11月に予定しています。同じ地球に住む仲間として応援したいという思いで、ストリートチルドレンがおかれている状況を子どもの視点で考え、資料を作成したり、一緒にイベントを作ってゆく子どもスタッフ(小学校高学年~高校生)を募集しています。アジアのストリートチルドレンや、それをめぐる社会状況、NPO・NGOの活動を知り応援したいと思っている人、楽しい音楽イベントを作って行きたいと思っている人、ご連絡お待ちしております。なお、大人のスタッフ(実行委員)も募集しています。

- 日時/11月9日(土)
- 場所/北海道クリスチャンセンター 札幌市北区北7条西6丁目
- 交通機関/地下鉄・JR「札幌駅」下車徒歩10分
- 活動日/11月9日までの土曜・日曜(都合にあわせて調整します)
- 活動場所/札幌市白石区菊水4条1丁目4-15
- 交通機関/地下鉄東西線「菊水駅」下車徒歩5分
- お問合せ/NPO法人札幌VO内 チャイルドネット(仮称)事務局
TEL・FAX:011-821-6063〈担当:足立〉
Eメール:adachi@sapporo-vo.com

障がいのある人と一緒に押し花の作品を作りませんか?

「札幌市手をつなぐ育成会」では、押し花講習会に参加して、知的障がいのある人と一緒に、しおりやカードなどを作ってください方や、サポートして下さる方を募集しています。知的障がいのある人は他人との交流がうまくありませんが、みなさんとの交流を望んでいます。一緒に作業をしながら、おしゃべりしたり、作品を誉めあったり、楽しい講習会にしたいと思っています。押し花やボランティアに興味のある方、是非ご連絡下さい。

- 日時/9月14日(土)、10月12日(土) 13:00~15:00
- 場所/北区民センター 札幌市北24条西5丁目
- 交通機関/地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩5分
- お問合せ/札幌市手をつなぐ育成会 北・東支部
TEL・FAX:011-764-8726〈担当:小島佳代子〉
Eメール:ceq44100@nyc.odn.ne.jp

2002年第6回DPI世界会議札幌大会開催記念

中国障害者芸術団

2002年10月16日(水) 札幌公演

昼の部 ●午後1:30開演 夜の部 ●午後7:00開演

北海道厚生年金会館 札幌市中央区北1条西12丁目

●主催/北海道新聞社、中国障害者芸術団公演実行委員会 ●共催/NHK札幌放送局
●後援/外務省、厚生労働省、中国大使館、日本身体障害者団体連合会、DPI(障害者インターナショナル)日本会議、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

中国残疾人艺术团
CHINA DISABLED PEOPLE'S PERFORMING ART TROUPE
既にアメリカ、アジア、ヨーロッパ、
オセアニアなど20カ国以上で公演し、
その高い芸術性と優美な舞台が
大きな反響を呼んでいます

- 舞踊
- 独唱
- ピアノ独奏
- 二胡(胡弓)独奏
- 京劇

入場料(全席自由・税込)

一般:2,000円(団体1,500円)

※団体は20人以上で、一般のみです。

※障害者手帳提示者は、1,000円になります。

小・中学生: 500円

●前売券販売所
道新プレイガイド(道新大通プラザ内)、
大丸プレイガイド、4プラプレイガイド、
北海道新聞各支社(北見・苫小牧は道
新文化センター)

お問い合わせ先
北海道新聞社事業局企画開発グループ
TEL011-210-5732



ボランティア情報

調査協力をお願い

現在、幼児をもつ母親を対象に、育児に関する意識調査を行っています。この調査では、育児に関わる問題と、育児を行う母親の意識について、より具体的に明らかにするとともに、育児支援に向けての課題を探ることを目的としています。この調査に参加していただける方を募集しております。

●対象／3～5歳のお子様を持つお母様方

●内容／

①アンケート調査…アンケート調査では、育児とお母様自身に関する質問にお答えいただけます。

②面接調査…お母様の養育体験、特に子ども時代の自分の母親との関係や、そしてそれが現在の母親としての自分にどう影響しているかなどについて、個別にお聞きします。

●日時／月曜日～土曜日ご都合の良い日時(2時間程度)

●場所／北海道浅井学園大学7号館(PAL)

〒069-8511 江別市文京台23番地

●交通機関／JR「大麻駅」下車徒歩15分、またはJR・地下鉄東西線「新札幌駅」下車・ジェイアール北海道バス江別方面行「浅井学園大・札幌学院大前」下車

●お問合せ／人間福祉学部福祉心理学科 佐藤至英研究室

TEL:011-387-4098 FAX:011-387-3692

Eメール:shiei@asaigakuen.ac.jp

おもちゃの修理ボランティア募集

壊れたおもちゃの修理を行う「おもちゃクリニック」の開院を目指し、ドクターやアシスタントのボランティアを募集しています。活動の場は主に東区・北区方面を考えています。今後、講習会や修理実習を通して技術を培い、その技術を還元できるような活動をしていきたいと考えています。修理経験者はもちろん、おもちゃクリニックに興味をもった方、一緒に活動をしていきませんか？ ご連絡をお待ちしています。

●日時／9月から11月までの第4木曜日 10:00～12:00

●場所／さっぽろ村コミュニティ工房 会議室

札幌市東区北12条東13丁目2-28

●交通機関／地下鉄東豊線「環状通東駅」下車(4番出口)徒歩5分

●お問合せ／TEL・FAX:011-775-8311(担当:東本)

配食ボランティア参加者募集

私たちは、仲間が集まって家庭の味を作り、70歳以上の1人暮らしの方などにお届けする「ふれあいたんぼぼ」配食ボランティアをしています。一緒にお弁当を作ってくれる人、配達してくれる人を募集しています。お近くにお住まいの方を希望しています。お電話にて連絡ください。

①料理作り

●日時／毎月第1・3土曜日 13:00～16:00

●場所／南区民センター調理室

②弁当の配達

●日時／15時50分頃から約1時間

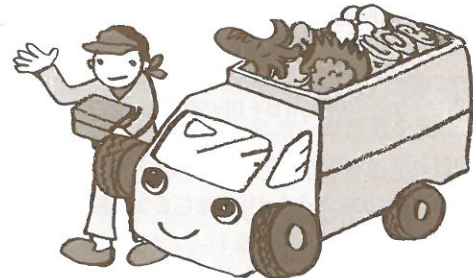
●集合場所／南区民センター調理室

●交通機関／地下鉄南北線「真駒内駅」下車徒歩5分

●お問合せ／TEL:011-821-7172 FAX:011-821-0731(担当:牧野) または、南区社会福祉協議会

TEL:011-582-2400(内線380・381) FAX:011-582-7370

※70歳以上の1人暮らしや夫婦世帯へ、1食500円でお弁当をお届けしています。お弁当希望者も併せて募集しています。



デイサービスのお手伝い募集

「デイサービスセンターゆかい」では、名前の通り、畑作業、室内レクリエーション、散歩、おやつ会等を毎日元気に「ゆかい」に活動しています。そこで、スタッフと共に活動のお手伝いをして下さる方を募集しています。また、レクリエーションを企画したいと思っている方もぜひ参加してください。空いている時間で構いませんので、よろしくお願いします。

●日時／月～金曜日 9:00～15:30

●場所／デイサービスセンターゆかい

札幌市厚別区厚別南2丁目17-14

●交通機関／地下鉄東西線「ひばりが丘駅」下車徒歩10分

●お問合せ／TEL・FAX:011-891-4966(担当:佐藤・大西)

あなたの町内会でパソコンの講習を開催しませんか！

～ 北海道情報化人材バンクでは、町内会が企画するパソコン講習をサポートします ～

ご近所、お友達で集まって、パソコン講習を開いてみませんか？既製のパソコン講習とは違い、あなたの知りたいことが、あなたのペースで学べます。講師は地域の情報化ボランティア。講習の内容や日程に合わせてお手伝いをして下さいます。まずは北海道情報化人材バンクまでお問い合わせ下さい。細かなご相談に応じます。

〔北海道情報化人材バンク〕Tel.) 011-802-3548 ・ Fax.) 011-802-3563
e-Mail) vorcit@npo-hokkaido.org ・ URL) <http://npo-hokkaido.org/vorcit/>



ボランティア情報

お料理の好きな方大募集!

心を込めて、手づくりのお弁当をお届けすることをモットーに活動している配食サービスボランティアグループ「こまどり」では、調理をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。お弁当は、主に高齢者向けのもので、東区にお住まいの方にお届けしています。調理は、下ごしらえから決められたレシピ通りに作るのですが、手作り弁当で家庭の味をお楽しみいただけたらと願って作っています。特に、第1・2土曜日にお手伝いして下さる方、お待ちしております。

●日時/月1回 土曜日 12:45~15:30(調理は毎週しています)

●場所・交通機関/

◎東区民センター 2階調理実習室

札幌市東区北11条東7丁目1

地下鉄東豊線「東区役所前駅」下車徒歩3分

◎栄地区センター 2階調理実習室

札幌市東区北36条東8丁目1-25

地下鉄東豊線「新道東駅」下車徒歩10分

(上記のいずれかで活動しています)

●お問合せ/配食サービス「こまどり」

TEL:011-752-8010(担当:代表 阿達)

PHS:070-5287-4942(担当:松平)

または、東区社会福祉協議会 TEL:011-741-6440

サークル会員募集!!

童謡「赤い靴」は、作詞家の野口雨情が、明治40年、札幌に新聞記者として赴任していた際に、同僚の奥さんであった鈴木かよさんから聞いた話をもとに作られた曲です。赤い靴の会では、この童謡「赤い靴」の物語や、歌を通じて親子愛のメッセージを発信しています。そこで、一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。主な活動内容は、赤い靴物語の語りと、童謡を中心としたテノールソロによるミニコンサートの開催や、幼稚園、保育所、老人施設などでの開催交渉です。

●日時/月に1~2回活動できる方

●お問合せ/札幌市南区真駒内緑町4丁目1-20-402

TEL・FAX:011-581-3420(担当:関)

求む!学習補助&パソコンボランティア

LD(学習障害)ADHD(注意欠陥/多動性障害)を含む子どもたちと共に学習している「かかわり教室」では、子どもと一緒に学習をするボランティア(学習補助)&パソコン操作に慣れているボランティアを募集しています。子どもにパソコンの基本的な操作や、特定のソフトの操作を指導してくれる方で、特に録音ボランティアの経験がある方をお待ちしています。

●日時/月曜日~土曜日 10:00~20:00(都合のよい時間帯)

●場所/かかわり教室 札幌市中央区大通西19丁目太田ハウス203号

●交通機関/地下鉄東西線「西18丁目駅」下車(2番出口)徒歩3分

●お問合せ/かかわり教室

TEL・FAX:011-611-6636 Eメール:kakawari@zb.wakwak.com

「レインボーマーチin札幌」ボランティアスタッフ募集 9/15

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルをはじめとするセクシャルマイノリティ(性的少数者)の存在を、広く社会に知ってもらうことを目的に「第6回レインボーマーチin札幌」を行います。思い思いの格好に身を包んだ参加者が、大通公園を出発し、札幌中心部をパレードするこのイベントは、今年で6回目を数え、昨年の参加者は約600名でした。レインボーマーチ実行委員会では、当日のお手伝いをしてくれるボランティアスタッフを募集しています。内容は、オープンカー、選挙カー等の運転、車の飾りつけ、ドリンク販売、風船のガス入れ、街頭ビラまき、隊列整理などいろいろです。興味のある方は気軽にご連絡ください!

●日時/9月15日(日) 11:30集合、13:00出発

●場所/大通公園西6丁目広場

●お問合せ/第6回レインボーマーチin札幌実行委員会

TEL・FAX:011-242-3321 携帯電話:090-3776-8945

Eメール:info@rainbowmarch.org

URL:http://www.rainbowmarch.org

老人施設でのボランティア募集

私たち「老後問題を考える会」は、ボランティアをしながら自分たちの老後問題を考え、学び、豊かな老後を創造していくグループです。老人施設でゲームやリハビリの援助をしてくれるボランティアを募集しています。

●日時/毎月第2・4木曜日 13:30~15:00

●場所/札幌稲寿園 札幌市手稲区曙5条2丁目

●交通機関/JR「手稲駅」からジェイアール北海道バス(循環41)「曙5条2丁目」下車徒歩2分

●内容/第2木曜日はパズル、カルタ、手芸、生け花

第4木曜日はリハビリの援助(ストレッチ体操、ゲーム、踊り、歌など)

●お問合せ/老後問題を考える会(担当:一戸)

TEL:011-862-4435

共同作業所でのボランティア募集

共同作業所「北区はぐくみ」は、どんなに「しょうがい」が重くても、自分が望む場所できいきと暮らしたい、自分の人生を自分で決めて、自分らしく生きていきたいとの思いから生まれた作業所です。若いメンバーで活動していますが、「しょうがい」が重く、みなさんの力を借りたいと思っています。主な内容は、①一緒に活動してくれる方(昼食付)②通っているメンバーの家から「はぐくみ」までの朝夕の送迎(燃料代一部支給)③西野にあるお弁当屋さんから「はぐくみ」まで、昼食を届けてくれる方(燃料代一部支給)などです。お待ちしております。

●日時/月曜日~土曜日 10:00~15:30(都合の良い時)

●場所/共同作業所「北区はぐくみ」

札幌市北区新琴似5条13丁目8-8

●交通機関/地下鉄南北線「麻生駅」から中央バス(麻06)

「新琴似6条13丁目」下車徒歩5分

●お問合せ/共同作業所「北区はぐくみ」

TEL・FAX:011-765-4022(担当:館)



イベント情報

※ボラナビ事務局では、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細等はそれぞれの団体にお問合せ下さい。

経済について学ぼう

日本の景気は一向に良くなりません。不良債権は減る様子もなく、景気の底入れが発表されたものの雇用は改善されません。日本の経済はいったいどうしたのでしょうか。最近では、アメリカの格付け会社ムーディーズが、日本の国債をアフリカのボツワナ共和国より下に格付けしたところ、日本中に衝撃が走りました。ところで、この格付け会社とは何なのでしょう。国債の格が下がると日本の経済にどのような影響があるのでしょうか。このようなニュースで取り上げられている事柄から、もっと身近な野菜の値段の変化まで経済活動に関するあれこれを一緒に学びませんか。

- 日時／毎月第3火曜日 13:00~15:00
- 場所／札幌独立キリスト教会 札幌市中央区大通西22丁目
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」下車徒歩5分
- 講師／北海道大学教授 唐渡興宣
- 会費／3ヶ月ごとに3,600円
- お問合せ／経済学を学ぶ会〈担当:近藤〉
TEL・FAX:011-685-3062



チャリティー・フリーマーケット 9/14

リサイクルを通して、ボランティアグループが抱える資金面・人材面、PRなどさまざまな問題を解決し、みんなで支え合うことを目的とした「手作りフリーマーケット」を開催します。30ほどの福祉・環境・国際協力・教育などのボランティア団体が軒を連ねます。当日のスタッフは、売り手も買い手もみんながボランティアです。ぜひ、のぞいてみてください。

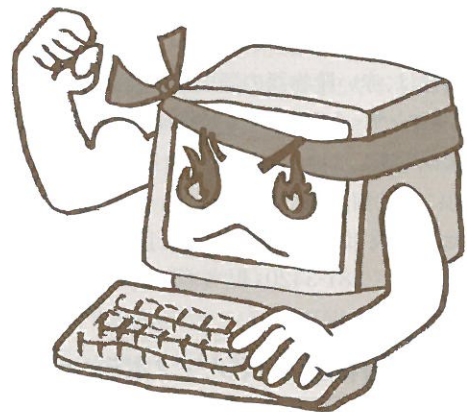
- 日時／9月14日(土)10:00~14:00 (雨天翌日順延)
- 場所／中島公園 自由広場
- 交通機関／地下鉄南北線「中島公園駅」または「幌平橋駅」下車徒歩5分
- お問合せ／リサイクル推進ボランティアの会〈担当:苅部〉
札幌市中央区南17条西6丁目1-1 チェルノブイリへのかけはし内
TEL・FAX:011-511-3680 Eメール:k.minako@guitar.ocn.ne.jp

シンポジウムの開催

10/19

札幌チャレンジは、自立を目指すチャレンジ(障害をもつ人)のパソコン技術習得や、パソコンによる社会参加を支援する活動を行なっています。意欲と能力のあるチャレンジが就労し、自立できる社会を願って、「ITを活用したチャレンジの就労」をテーマにシンポジウムを開催します。詳細はお問い合わせ下さい。

- テーマ/ITを活用したチャレンジの就労
～拡がる可能性をつかむために～
- 日時/10月19日(土)13:30~16:40
- 場所/NTTドコモ北海道 1階
札幌市中央区北1条西14丁目
- 交通機関/地下鉄東西線「西11丁目駅」下車徒歩7分
- 協賛のお願い/このシンポジウムにご協賛、ご支援をいただくと個人や団体を募集しています。協賛金は一口5,000円です。
※ボランティア活動をより活発にすることを目的に地域通貨「チャレ」を導入しています。年間費を払ってくださった方と、ボランティアをしてくださった方に「チャレ」をお支払いします。「チャレ」と円を組み合わせ、私たちのパソコン講習を受けることができます。また、ある居酒屋では飲み物券として使ってもらっています。今後、いろいろな場所で「チャレ」を使えるようにしていきたいと考えています。地域通貨「チャレ」の流通・活用にご協力いただける作業所、団体、施設、ショップを募集します。たとえば作業所などで販売している石鹸の購入金額の1部に「チャレ」を使用するなど。団体間の交流、ショップの宣伝、ボランティアの循環にご利用ください。
- お問合せ/NPO法人札幌チャレンジ
TEL:011-261-0074 FAX:011-261-6524
Eメール:challenged@npohokkaido.jp



ほっとニュース

リユースパソコンをお望みなら

東京にある特定非営利活動法人イーパーツでは、企業から出される不要パソコンをリユースパソコンとして再生させて、さまざまなNPOに寄贈しています。このリユースパソコンの寄贈先は、書類選考による公募により選ばれます。また、NPOの情報化に役立つイベントなども予定していて、新しいコミュニケーションの方法を応援しているそうです。聞くとところによると、北海道からの応募が非常に少ないとのことなの

で、応募してみてもはどうでしょうか? 実はボラナビ倶楽部でも現在申請中です。もらえるといいなあ〜。応募方法など、詳しくはお問い合わせを。

- 特定非営利活動法人 イーパーツ
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-18-3 目黒第一花谷ビル605
TEL:03-5759-7806 FAX:03-5759-7807
Eメール:info@eparts-jp.org URL:http://www.eparts-jp.org/

2002年国際デー参加のお誘い 9/22

今年で3回目を迎える「国際デー」は、交流会(フェスタ)を通して、私たちの身近に住んでいる様々な国籍を持つ人々と出会う場です。今年のテーマは「Let's Get Together」ラダ文化”を創ろうよ!

なる文化を受け入れながらすべての人が明るい心・豊かな生活の場を養うきっかけになることを願っています。各国の手作り料理や催し物を用意しています。楽しさいっぱい広場で各国の人たちとひと時を過ごしてください。ご来場をお待ちしています。

- 日時/9月22日(日) 12:30~16:00
 - 場所/せいえん幼稚園園庭(カトリック札幌北1条教会の北側) 札幌市中央区北1条東6丁目10
 - 交通機関/地下鉄東西線「バスセンター前駅」下車徒歩5分
 - 参加予定国/韓国・フィリピン・トルコ・フランス・ベトナム・ミャンマー・ポーランド・アメリカ・オーストラリア・メキシコ・ブラジルなど(順不同)
 - お問合せ/うえるかむ はうす TEL:011-222-6766
- ※当日、会場で通訳や各国のブースでお手伝い出来る方を求めています。運営本部にお申し出ください。

「環境の村フォーラム」参加者募集 10/13・14

当別町にある「北海道環境の村」では、持続可能な社会を実現するための環境教育の拠点として、今年の4月よりさまざまな事業を行っています。今回の『環境の村フォーラム』では、「持続可能な社会をつかっていくための教育や仕組みづくり」をテーマに、環境教育に関わっているオルタナティブなライフスタイルの提唱や、コミュニティ活動をされている方々が集います。Face to Faceの関係を築きながら交流し、ネットワークを広げることを目的に、ミニコンサート、ゲストスピーチ、ワークショップなどを行います。ぜひ、多くの方々の参加をお待ちしています。

- 日時/10月13日(日) 13:00~14日(月・祝) 15:00(宿泊)
 - 場所/当別町青山交流会館及びその周辺(当別町字青山奥1256番地)
 - 対象/環境・教育・まちづくりに関心のある方。
 - 定員/30名(申し込みが定員を超えた場合は抽選となります)。
 - 参加費/無料
(但し実費負担[食費・資料・保険代等]として5,000円かかります)。
 - お申込み方法/事業名、名前(ふりがな)、連絡先(住所、電話、FAX、Eメール)、年齢、所属団体、参加動機、交通手段を記入の上、Eメール・FAX・郵送・電話にてお申込ください。
 - お申込み・お問合せ/
NPO法人当別エコロジカルコミュニティ(TEC)
〒061-0224 石狩郡当別町末広380番地辻野グループビル内
TEL:01332-2-4305 FAX:01332-3-3591
Eメール:tectec@sea.plala.or.jp
URL:http://www9.plala.or.jp/tectec/
 - 締切/9月27日(金)
- ※基本的に現地集合・解散となります。送迎希望(JR石狩当別駅~現地)の方はご相談ください。

チャリティーショップと協力活動 9/8

無料提供された品物を販売し、収益金を援助にあてているチャリティーショップ「セカンドハンド」(本部:香川県)では、下記の日時に活動紹介の講演会を行います。これまでに小学校を9校舎建設支援したほか、地雷による障害者、女性への自立支援、孤児院への支援も行っています。現在は貧困地域の女性たちを対象とした職業訓練プロジェクトを展開中です。今年10月には職業訓練センターが建設着工になり、国内で集めた足踏みミシンを使って訓練を行います。貧困ゆえに人身売買の被害に遭う女性や、子供たちの現状など、主にカンボジアについて、また資金源となっているチャリティーショップの活動についてお話しします。現在、北海道にはショップはありませんが、チャリティーフリーマーケットやバザー参加という形で活動をしています。当日はビデオ上映、カンボジアのクラフト品(フェアトレード商品)も展示予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 講演者/NPO法人 セカンドハンド代表 新田恭子
- 日時/9月8日(日) 13:30~
- 場所/かでの2・7 810会議室 札幌市中央区北2条西7丁目
- 交通機関/地下鉄・JR「札幌駅」下車徒歩10分
- 参加費/無料
- お問合せ/セカンドハンド北海道支部
携帯電話:090-2695-9390(担当:大波)
Eメール:satomie@seagreen.ocn.ne.jp
セカンドハンドURL:http://www.eskimo.com/~2nd-hand/

現地に見るシュタイナー教育・市民公開報告会 9/7

「札幌-ミュンヘン姉妹都市交流会」は、札幌姉妹都市協会の交流事業による助成を受けて、姉妹都市・ミュンヘンを中心にドイツを視察・研修し、さまざまな体験を肌身で感じてきた市民によって成り立っています。今回の報告会では、ドイツから国際交流員として派遣されているズイモネ・クルズルさんに、「ドイツの教育」について、日本との比較をしながらわかりやすくお話をさせていただきます。また、ほかにお二人の派遣者によって、「自由ヴァルドルフ学校」や「保育園」などの報告を中心に、ドイツ及びシュタイナー教育の姿もお話しさせていただきます。事前の申し込みや参加費用は不要です。若い人の参加をお待ちしています。どうぞお気軽にご参加ください。

- テーマ/「ドイツの教育について」
「シュタイナー教育を見聞して」
「ドイツの教育と子育てについて」
- 日時/9月7日(土) 13:00~17:00
- 場所/札幌国際プラザ コンベンションホール
札幌市中央区北1条西3丁目MNビル5階(札幌時計台の西向い)
- 交通機関/地下鉄「大通駅」下車徒歩5分
- お問合せ/FAX:011-723-5011(担当:小島)
Eメール:Saruvodaya@m2.people.or.jp



イベント情報

楽しく学ぼう! ラジオのあれこれ

パーソナリティーやDJなどのトークを身につけたい人、ミキサーやディレクター、プロデューサー、番組の企画や構成をしたい人など、年齢、性別は問いません。第2回ラジオ番組制作セミナーに、どなたでもお気軽にご参加ください。放送法やコミュニティ放送概論などのほか、マイクの使い方やラジオでの話し方のコツなど、知識や技術を楽しく学びましょう。東区に札幌で5番目のコミュニティ放送局の開局準備が進んでいます。セミナーに参加して一緒に番組づくりをしませんか。

●日時／

平日コース(金曜日) 13:00~15:00と19:00~21:00のコースがあります。

①9月6日 ②9月20日 ③10月4日 ④10月18日 ⑤11月1日

週末コース(土曜日) 14:00~16:00

①9月7日 ②9月21日 ③10月5日 ④10月19日 ⑤11月2日

●場所／札幌市東区北12条東13丁目2-28 工房会議室・たまねぎ倉庫

●交通機関／地下鉄東豊線「環状通東駅」徒歩5分

●受講料／5,500円(各コース)

●テキスト代／500円

●定員／各コース20名

●お問合せ／NPO法人さっぽろ村コミュニティ工房(担当:加藤)

TEL:011-748-7577 FAX:011-748-7770

MAW説明会とボランティア研修会 9/6・7・13・14

私たちは、難病の子どもたちの夢を叶えるお手伝いをしているMAW(メイク・ア・ウィッシュオブジャパン)です。MAWについての説明会とボランティアトレーニングを下記の日程で行ないます。当日直接会場において下さい。

●日時／9月6日(金)18:30~

※この後、7日、13日、14日にボランティアトレーニングを行います。

詳しくは説明会で。

●場所／札幌市民会館 第4会議室 札幌市中央区北1条西1丁目

●交通機関／地下鉄「大通駅」下車徒歩3分

●お問合せ／TEL:011-261-0074(担当:杉山)

Eメール: ituko-s@msb.biglobe.ne.jp

またはMAW本部Eメール:tokyo-hq@mawj.org

URL:http://www.mawj.org

第1回病院ボランティア国際フォーラム 9/12~14

日々、狭くなりつつある世界。これからのボランティア活動のキーワードは「世界を見つめながら地域に根ざした活動を」と言われています。その流れのなか、ここ札幌で「第1回病院ボランティア国際フォーラム」が開催されます。国内外で活躍する病院ボランティアや関連分野で活動する人たちが一堂に会し活動の実践報告を通し、互いに学び合い、その成果を活動のステップアップのために活かしていく事を目指します。ボランティア、コーディネーター、NPO、NGO、保険、医療、福祉、異文化交流、生涯学習、教育、まちづくり、協働などのテーマに関心のあるみなさまの参加をお待ちしています。一緒に集い、学び、その成果をよりよい社会づくりに活かしましょう。

●日時・内容／

9月12日(木) 午後 参加登録受付

夕方 オープニングパーティー

13日(金) 開会式 基調講演「21世紀 ボランティア世界事情」

ビデオセッション「各国病院ボランティア世界事情」

トークセッション

①チーム医療-医療従事者とボランティアの連携

②ボランティアの組織づくり

③ボランティア活動プログラムの現状と今後の展望

④生涯学習としてのボランティア-人間科学の見地から

14日(土) 午前 トークセッション各分科会からの報告 閉会式

正午 フェアウェルパーティー

●場所／ホテルライフポート札幌 札幌市中央区南10条西1丁目

●交通機関／地下鉄南北線「中島公園駅」下車徒歩5分

●参加費／一般4,000円、学生1,000円(2日通し。パーティー代は別途)

●定員／500名(定員になり次第、締め切ります)

●お問合せ／IHVF2002実行委員会事務局

札幌市中央区北11条西13丁目1-1市立札幌病院内

TEL・FAX:011-738-5571



事務局日誌 7月

2日(火) 北大生20人が授業の一環でボラナビのヒアリングに訪れた。

7日(日) 山の手南小学校で開催された「スクールフェスタ2002」に松本がお邪魔した。

8日(月) 某小学校の先生から、総合的な学習に「月刊ボラナビ」を活用したいとお申し出をいただいた。

14日(日) NPOに中古パソコンの寄贈をしている東京の団体イーパーツさんがヒアリングにいらした。果たしてボラナビは

パソコンをいただけるのか?!

16日(火) 北海道NPOサポートセンターの方に、会計ソフトの使い方を学んだ。これまで、経理はサボセンさんに委託していたのでした。

20日(土) 同じく、サボセンさんの「NPOステップアップセミナー」に参加。プレゼンの仕方がとても勉強になった。

21日(日) 東京から、某企業のボランティア担当の方がいらした。

22日(月) ボラナビの集い。ニュートリ・ケアさんからの差し入れは、おいしいケーキ。

24日(水) 愛知県から、某企業の労組の方がいらした。道外からのお客様が続く。

26日(金) ボラナビの新事業を申請していた先で、二次審査の面接。われわれの熱意は伝わっただろうか・・・。

30日(火) 中学生のボランティア体験説明会。楽しいボランティア体験になるといいね。

ボラナビの主な配布先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

札幌市内と近郊の大学・専門学校

大谷短期大学
小樽商科大学
札幌医科大学
札幌学院大学〈江別BBS〉
札幌国際大学
札幌大学
東海大学
藤女子大学
北海道文教短期大学
北星学園大学
北海学園大学
北海道浅井学園大学
北海道医療大学
北海道大学
武蔵女子短期大学
酪農学園大学
札幌福祉専門学校
北海道芸術デザイン専門学校
北海道医薬専門学校

スーパー

北雄ラッキー〈市内全店〉
スーパーJOY〈市内全店〉
札幌東急ストア〈市内全店〉
ディナーベル〈市内全店〉
ホクレンショップ・ホクレンディス
カウントショップ〈市内全店〉
コープさっぽろ〈市内全店〉
EIYU〈市内全店〉
ポスフル〈市内全店〉
マルズ系スーパー〈市内全店〉
マックスバリュール〈市内全店〉
札幌フードセンター
〈篠路、北、新道、元町、カスタム(東
苗穂)、菊水、森林公園、月寒中央、
豊平、琴似、澄川の各店〉

書店

文教堂〈市内全店〉
紀伊国屋書店
〈ロフト店を除く市内全店と小樽店〉
くすみ書房
ダイヤ書房〈新道店、発寒店〉
ピヴォブックセンター〈南2西4ピヴォ6階〉

★ボラナビの配布先での様子を教えてください。

ボラナビ倶楽部では、より多くの方々にご愛読いただきたく、誌面づくりはもとより、配布状況などの情報収集に努めています。ボラナビがすぐなくなる!ここに置いてくれるといいな! などなど、ご要望がございましたら、お手数でもご一報下さい。

レンタルビデオ店

TSUTAYA〈光星店、宮の森店〉

CD店

VIRGIN MEGA STORE
〈南1西3 ラ・ガレリア地下1F〉

映画館

札幌劇場
シアターキノ
松竹
SY遊楽
東宝公衆
東映劇場

飲食店

可否茶館〈市内全店〉
サンローゼ
サッポロ珈琲館
(株)はしもと ごまそば鶴喜

銀行

札幌信用金庫
北海道銀行
ろうきん

その他

朝日カルチャーセンター〈北2西1〉
道新文化センター〈大通西3〉
札幌日産自動車(株)〈各支店〉
日産サティオ札幌(株)〈各支店〉
さっぽろ村コミュニティ工房
〈北12東13〉
JR琴似駅
JR新札幌駅
北海道環境サポートセンター
〈北7西5〉
北海道電力(株)〈市内全営業窓口〉

市内公的施設

70カ所
(区役所、図書館、地区センター、
市民活動プラザなどに配布をお願い
しています。)

定期購読のご案内

各号1部(6か月間)……………1,500円

複数部数を希望される場合は、ボラナビ倶楽部まで
お問い合わせください。(※札幌市外は6部まで)

●お申し込み方法

お名前、ご住所、FAX番号(または電話番号かEメールアドレス)
をボラナビ倶楽部にお知らせください。

※この金額は印刷、郵送費には足りていません。定期購読のお申し込み
をされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、協賛をご検討く
ださいようお願いいたします。協賛については裏面をご覧ください。

★総合学習に活用してください。

公・私立に関わらず小・中・高校に「月刊ボラナビ」を20部まで、
半年間、無料でお届けします(配送費用の関係上、先着30枚
までです。お早めにお申込み下さい。

情報提供のお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、
日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはE
メールでお送りください(Eメールだとうれしい!)Eメールの際は添付
ファイルでの送信はご遠慮ください。掲載料は無料です。
11月号に掲載を希望される場合は、**9月25日必着でお送りください。**
お便りなどもお待ちしております。

表紙イラストの募集について

「ボラナビ」の表紙は、読者の皆様から寄せられる「人の心を明るく、
温かく、元気にするイラスト」を紹介しています。ボラナビの表紙とホーム
ページを自分の作品で飾ってみたい!という方は、イラストをハガキ
またはA4判以内の紙に描いてお送り下さい。絵の題材、手法は自由。
線画でもかまいません。絵に込めたメッセージも添えてお送り下さい。
なお、作品の権利(著作権)は作者に属しますが、取り扱いはボラナビ
倶楽部に一任させていただきます。また、応募が多数に上った場合は、
ご紹介できない場合もありますので、ご容赦下さい。

●お問合せ・お送り先は

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル3F
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043
Eメール volunavi@npohokkaido.jp



編集後記

我が家の猫は16歳。もうかなりのお年頃(?)だが、食べても食べても食べ
たがる、夜中に家を走りまわるくらい元気!って言ったら獣医さんにそれは
老人ボケだよと言われた…。長生きしてね。(ボラナビスタッフ 鈴木優子)

今月協賛して下さった方々 (サシス順)

札幌通運労働組合様	ほくでんぼるねっと様 (北海道電力内ボランティアサークル)
札幌南口ロータリークラブ様	北雄ラッキー株式会社様
佐藤水産株式会社様	株式会社ホクレン商事様
城宝和茂様	株式会社北海道アルバイト情報社様
進藤芳彦様	北海道紙商事株式会社様
菅原祐雄様	北海道新聞社様
生活クラブ生活協同組合様	北海道ビジネスオートメーション株式会社様
高垣正計様	北海道旅客鉄道株式会社様
株式会社TAQANO様	本田技研工業株式会社北海道営業部様
株式会社土屋ホーム様	株式会社リクルート北海道じゃらん様
禎心会病院様	ろうきん様
寺岡ファシリティーズ株式会社様	渡邊克彦様
中道リース株式会社様	アイティコミュニケーションズ様
株式会社ニトリ様	エックス様
株式会社はしもと ごまそば鶴喜様	株式会社NTTドコモ北海道様
幡本印刷株式会社様	株式会社学生援護会北海道様
藤本貞男様	

協賛金について

一口 500円より協賛金を受け付けています。

※月刊ボラナビの発行は、企業や個人の皆様からの協賛金でまかなっています。10,000円以上の協賛金をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。継続的な協賛にぜひ、ご協力ください。(政治団体・宗教団体などはお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。)

情報・広告掲載料金 (各1号につき)

広告掲載料金は、ボラナビ倶楽部への協賛の意味合いが強く、若干高めに設定させていただいています。ご負担をおかけしますがご協力をお願いします。

種類	大きさ(天地×左右)	価格
企業広告A	45mm×180mm	60,000円
企業広告B	45mm× 87mm	30,000円
求人広告 (NPO・NGO団体で募集する有給スタッフの求人広告)	54mm×180mm	10,000円
ボランティア募集情報	大きさにかかわらず	無料

※企業広告はご自身で制作された場合の価格です。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。
※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。

広告掲載料金・協賛金の振込先

■郵便局 / 02700-1-5671

■北洋銀行札幌駅北口支店 / (普) 0118625

■北海道銀行札幌駅北口支店 / (普) 0816050

■北海道労働金庫道庁支店 / (普) 3153060

※以上、加入者名はいずれも「ボラナビ倶楽部」。振込の際は、ご連絡先をボラナビにお伝えください。

■コンビニエンスストア

ねっとほ金のサイトから申し込みいただくと、専用のコンビニ振込用紙をお送りします。

ご利用ください。 <http://www.npohokkaido.jp/volunavi>